

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		夢来		公表日			2026 年 7 月 15 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		自分で移動できる利用者の行動範囲が広がりやすい。職員体制が薄い時は利用者の安全の確保がしづらくなる。まとまって遊べるようにしたり、職員間で声をかけ合うなど、工夫や職員間の連携が大切。	どちらともいえない1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	1	2	・常勤看護師の確保 ・保育ルームや現場の職員の人員配置	どちらともいえない4		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・怪我に繋がる角等を保護し、利用者さんが安全に過ごせるように工夫している			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・送迎等もあり、日々の振り返りができないこと、職員が揃う日が少ないため、情報の共有、交換、周知などがしづらい。	どちらともいえない3		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・行事においてはアンケートを実施、モニタリングの面談などで保護者の意見を吸い上げるようにしている。	どちらともいえない2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		どちらともいえない3		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・事業所としての第三者評価、外部評価のシステムは不十分。	どちらともいえない1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	制度上、必須とされている研修に加え、職員の学びたい気持ちを尊重する形で、外部の研修に派遣したり、内部研修を実施したりしている。	どちらともいえない1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・個別支援計画書は、利用者、家族と事業所の信頼関係を築く大切なツール。丁寧に作成プロセスに取り組むように心がけている。	どちらともいえない1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1		どちらともいえない3		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		どちらともいえない3		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・内容が簡素すぎ、利用者の状況が掴みづらい。就学前の通所先に関する項目がないため、就学前の育ちについての情報等がない。	どちらともいえない2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		どちらともいえない3		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	季節ごとの室内装飾の制作活動、月ごとのイベントを遊びに取り入れている。	どちらともいえない3		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	利用者の状況に合わせて、意識的に繰り返し実施しているものもあれば、経験を広げるために新たな活動を取り入れたりしている。	どちらともいえない2		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	体調管理等に配慮が必要な利用者が多いので、必然的に個々での活動、全体活動を組み立てた計画の作成、実施になっている。	どちらともいえない2
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	出勤時間にばらつきがあり、打ち合わせにいない職員もいるが、出勤後、個別に説明、確認を行っている。	どちらともいえない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	送迎等により、全員が揃うのが遅い時間になるため、支援後の振り返りはできていない。	どちらともいえない1
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	振り返りができていないため、記録者の視点での記録になってしまうことは否めない。	どちらともいえない2
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		どちらともいえない1
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0	様々な職種、経験値、職歴など様々なバックボーンの職員集団であるため、意識のばらつきがある。	どちらともいえない4
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1		どちらともいえない3
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		どちらともいえない1
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		どちらともいえない
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	新入学児については、ご家族経由で就学前の事業所が作成した情報等をいただくことがある。園と直接、やりとりはできていない。	どちらともいえない3
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	必要があれば。	どちらともいえない3
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		どちらともいえない2
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	0		どちらともいえない5
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		どちらともいえない
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	児発管を中心にペアレントトレーニングについての学びを深める必要がある。	どちらともいえない3
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		どちらともいえない1
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1		どちらともいえない3
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		どちらともいえない2
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		どちらともいえない1

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1	保護者も参加する行事を何に数回企画し、保護者同士が交流できるように計らっている。保護者対象とした学習会、交流会などの企画も検討しているが、実施には至っていない。	どちらともいえない4
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		どちらともいえない2
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	定期的には発行していない。必要に応じて発行している。	どちらともいえない3
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵つきロッカーでの保管など。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	見通しが立ちにくい子、不安が強い子に対しては、言葉での丁寧な説明に加えて、絵カードの使用などを行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		どちらともいえない3
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	防犯マニュアル？！	どちらともいえない1
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	保護者を通じて指示書をもらうなどの対応をしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		どちらともいえない2
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		どちらともいえない1
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		